

科目名 疾病論Ⅲ 時間割表記名 疾病論Ⅲ(女性生殖器・感覚器(眼耳) 内分泌疾患)	配当時期 1年次 後期 単位数 1単位 時間数 30時間(16回)	講義担当者 水元孝郎 山本直 榮木大輔 上村尚樹 西川武志 木下博之	
事前学習内容 解剖生理学・病理学・生化学などの既習学習を踏まえて授業に参加する。			
授業目標 1. 疾病の成り立ちと回復の促進について理解し、病因と病変の特徴及び系統別疾患の病態・検査・診断・治療について理解できる。			
DPとの関連 DP2. 一人ひとりの健康状態に応じて、最善の看護を選択し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる			
授業の流れ			
回	学習内容	方法	備考
1	女性生殖器 1. 乳がんの特徴と主な症状 2. 乳がんの主な検査、治療・処置 1) 視診・触診 2) 画像診断(マンモグラフィー) 3) 生検 4) 手術療法 5) 放射線療法 6) 化学療法 7) ホルモン療法	講義	テキスト①②
2	女性生殖器 3. 月経異常、更年期障害の特徴と主な症状 4. 月経異常、更年期障害の主な検査、治療・処置	講義	テキスト②
3	女性生殖器 5. 膣の疾患、子宮筋腫、子宮内膜症の特徴と主な症状 6. 膣の疾患、子宮筋腫、子宮内膜症の主な検査、治療・処置 1) 内診 2) 膣鏡診	講義	テキスト②
4	女性生殖器 7. 子宮癌、卵巣癌の特徴と主な症状 8. 子宮癌、卵巣癌の主な検査、治療・処置 1) 細胞診 2) ホルモン療法 3) 化学療法 4) 手術療法	講義	テキスト②
5	女性生殖器 9. 性感染症の特徴と主な症状 10. 性感染症の主な検査、治療・処置	講義	テキスト②
6 7	感覚器 11. 眼疾患の特徴と主な症状 1) 白内障 2) 緑内障 3) 網膜剥離 4) 斜視 12. 眼疾患の主な検査、治療・処置 1) 視力検査 2) 視野検査 3) 眼球運動の検査 4) 点眼法 5) 光凝固 6) 手術療法	講義	テキスト③

8	<p>感覚器 12. 耳疾患の特徴と主な症状 1) 中耳炎 2) メニエール病 3) 突発性難聴</p> <p>13. 耳疾患の主な検査、治療・処置 1) 平衡機能検査 2) 手術療法 3) 薬物療法</p>	講義	テキスト④
9	<p>感覚器 14. 鼻疾患の特徴と主な症状 1) 副鼻腔炎</p> <p>15. 鼻疾患の主な検査、治療・処置 1) 副鼻腔検査 2) 手術療法</p>	講義	テキスト④
10	<p>感覚器 16. 舌癌、咽頭癌、喉頭癌の特徴と主な症状 17. 舌癌、咽頭癌、喉頭癌の主な検査、治療・処置 1) 手術療法</p>	講義	テキスト④
11 12 13	<p>内分泌 代謝疾患</p> <p>18. 糖尿病、高脂血症、肥満、高尿酸血症の特徴と 主な症状</p> <p>19. 糖尿病、高脂血症、肥満、高尿酸血症の主な検査、 治療・処置 1) 血液検査 2) 薬物療法 3) 食事療法 4) 運動療法</p>	講義	テキスト⑤
14 15	<p>内分泌 内分泌疾患</p> <p>20. 甲状腺・副甲状腺疾患の特徴と主な症状 1) 甲状腺機能亢進症・機能低下症、 2) 副甲状腺機能亢進症・機能低下症 2) 甲状腺癌</p> <p>21. 甲状腺・副甲状腺疾患の主な検査、治療・処置 1) ホルモン負荷試験 2) 手術療法 3) 薬物療法</p> <p>22. 副腎皮質・髄質、下垂体疾患の特徴と 主な症状</p> <p>23. 副腎皮質・髄質、下垂体疾患の主な検査、 治療・処置</p>	講義	テキスト⑤
16	筆記試験(60分)	筆記試験	
<p>受講上の注意 事前学習、事後学習をきちんと行う。</p>			<p>評価方法 筆記試験</p>
<p>使用するテキスト</p> <p>①系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論 医学書院 ②系統看護学講座 専門分野 成人看護学[9] 女性生殖器 医学書院 ③系統看護学講座 専門分野 成人看護学[13] 眼 医学書院 ④系統看護学講座 専門分野 成人看護学[14] 耳鼻咽喉 医学書院 ⑤系統看護学講座 専門分野 成人看護学[6] 内分泌・代謝 医学書院</p> <p>参考文献</p>			